

令和5年度 下都賀地区 栃木支部研修報告

会長 所属校	栃木市立岩舟小学校	研修担当 所属校	栃木市立皆川中学校	会員数	46名
支部の研修テーマ及び地域の現状や特色					
<p>栃木市は共同学校事務室設置から5年目を迎え、より安定した質の高い事務体制の確立、小中一貫教育の推進、若手事務職員の支援等を継続して行っています。共同学校事務室が充実期に入り安定してきたことから、栃木市学校事務研究会と共同学校事務室、この2つの組織が連携を図りながらも、それぞれの組織の目的の違いが明確となる活動ができるような課題を検討しました。</p> <p>そこで、栃木市学校事務研究会の課題は『「業務改善」と「資質向上」についての研究』と設定し、下記の2つを研修の柱として取り組んできました。</p> <p>1 業務改善 (1) 各分野における「班別研修」を行い、事務マニュアル、事務改善の研修成果を共同学校事務室の業務へ引き継ぐことを目指す。</p> <p>2 資質向上 (1) 「講話研修」「体験発表」により、職務遂行上必要な知識を習得し、資質の向上に努める。 (2) 「事例研修」を行い、全会員が共通の事務処理の知識を習得し、それぞれの職場に活かす。</p>					
研 修 日 等		研 修 会 の 主 な 内 容			研修会主催者
【第1回】 5月12日(金) 会場：大平公民館 時間：13:30～16:30		① 今年度の研修概要について ② 講話研修「予算執行について」 栃木市教育委員会 学校施設課 学校管理係係長 高山正人 様 学校管理係主事 平野香織 様 ③ 班別研修			市事研
【第2回】 7月28日(金) 会場：国府公民館 時間：13:15～16:30		① ワークショップ「組織の一員として」 栃木市立藤岡小学校 事務長 三浦真樹 栃木市立皆川中学校 主任 渡邊史絵 ② 班別研修			市事研
【第3回】 11月28日(火) 会場：皆川公民館 時間：13:30～16:30		① 講話研修「復職調整について」 栃木市教育委員会 学校教育課 副主幹兼管理主事 奥澤彩子 様 ② 事例研修 ・共同訪問報告 ・現職死亡の場合の事務処理 ③ 班別研修			市事研
【第4回】 1月18日(木) 会場：皆川公民館 時間：13:30～16:30		① 体験発表 ・演題「事務職員としての取り組み」 栃木市立栃木第四小学校 主事 関口実希 栃木市立大宮南小学校 主事 栗田瑞樹 ・演題「事務改善に向けた取り組み」 栃木市立赤津小学校 主事 中村春樹 ② 事例研修 ・市定例監査報告 ・県内部監査報告 ・育児部分休業の事務処理について ③ 共同学校事務連絡会より業務移行の説明 ④ 班別研修			市事研

研 修 成 果 と 課 題

5月と11月の全体研修会では栃木市教育委員会と連携し、講話研修を行いました。5月は栃木市教育委員会学校施設課の職員による、学校予算に関する詳細な説明をしていただきました。定例業務の疑問点を解決し、さらに知識を深める研修を行うことができました。財務事務を安定させる上で貴重な機会となり、会員一人一人の意識やスキルアップに繋がりました。11月は栃木市教育委員会学校教育課の職員を講師とし、復職調整の事務処理について講話をしていただきました。これまで疑問や不安が大きい業務でしたが、複雑な事務処理について時間をかけて丁寧な説明をしていただき新たな知識を習得することができました。また当日の事例協議ではより高いレベルの事務処理を学ぶことができました。

班別研修で行っていた事務職員の仕事に直接関わってくる業務内容を、令和6年度からは共同学校事務室で行うために、研修部を中心に連絡会と連携を図り研修を進めました。これまで本会の多くの先輩方が積み上げてこられた各分野の事務の標準化や効率化に繋がる事務マニュアルおよび事務改善の研修成果を共同学校事務室の業務へスムーズに移行し、繋ぐ準備を行いました。

1月の研修で今年度から新たに取入れた体験発表では、会員の体験発表の場を設け、経験年数5年未満の2名の事務職員に各校での取り組みについて発表をしていただきました。現在市内の学校事務職員は約4割が採用5年以内または任期付・臨時採用者であり、ベテラン層が少ない人員構成となっています。知識や経験豊富なベテランが少ないことは不安ですが、それを解消していくためには、若手事務職員のスキルアップは今後必須になっていきます。自信をもって発言できる場、意欲的に楽しく仕事をしてもらえるような機会の設定や会員同士のコミュニケーションを大切にする研修を進めてきました。当日はバランスの良い発表内容で会員からとても良い評価をいただきました。会員の前で発表をする機会を設けることで、今後の自信に繋がる力を養っていきたいと考えます。また若手事務職員からベテラン事務職員が学ぶことも多くありました。今後も栃木市学校事務研究会ではベテラン事務職員が責任を持って若手事務職員を育ててきた歴史を引き継ぎ、学び合い、それぞれの学校が質の高い教育を実現していくために、安定した学校事務を提供できるようなサポートをしていきたいと考えています。

今年度は「栃木市学校事務研究会」と「共同学校事務室」、この2つの組織が連携を図りながらも、それぞれの組織の目的の違いが明確となる活動ができるよう栃木市学校事務研究会の課題を『「業務改善」と「資質向上」についての研究』と設定し、1年間研究に取り組んできました。今後はこれまでの本会の歴史を継承しながら、共同学校事務室で活躍できる人材の育成と事務職員の資質向上を目指した新たな研修体制を整えていきたいと考えています。